

令和6年 死亡災害発生事例（陸上貨物運送事業）

（令和6年12月31日集計 「脳・心臓疾患」、「精神障害」、「新型コロナウイルス感染症」に係るもの及び調査中のものは除く）

埼玉労働局

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	被災者年齢層	災害発生のあらし	事故の型	起因物
1	1月	10時	陸上貨物運送事業	10～49人	40～44歳代	高速道路を大型トラックで走行中、混雑で低速走行中の大型バスに追突したものの。	交通事故	トラック
2	7月	8時	陸上貨物運送事業	1～9人	55～59歳代	中型トラックを運転し、高速道路を走行中、渋滞していた車列に追突し、搬送先の病院で死亡が確認されたもの。 追突したはずみで、合計5台が絡む玉突き事故となり、被災者のほか3名が重軽傷を負った。	交通事故	トラック
3	7月	23時	陸上貨物運送事業	10～49人	60～64歳代	高速道路下り線において、トラックを運転中に前方の車両に気づかず、追突したものの。	交通事故	トラック
4	11月	11時	陸上貨物運送事業	10～49人	55～59歳代	荷積み先の倉庫において、トラックの荷台に積まれた荷（米袋）に乗り作業していたところ、約2m墜落し、地面に頭部を強打したものの。保護帽は未着用であった。	墜落・転落	トラック
5	11月	9時	陸上貨物運送事業	10～49人	70～74歳代	冷蔵倉庫内の冷凍庫において、冷凍食品を保管する棚の近くで倒れていたところを発見され、医療機関に搬送されたが、頭部外傷により2日後に死亡したものの。	墜落・転落	その他の仮設物